

みなみ風

【発行】

〒812-0046

福岡市博多区吉塚本町 9-15 福岡県中小企業振興センター 11F

福岡県中小企業家同友会 南支部 広報情報プロジェクト

9月例会

「男女が共に輝く事業経営&同友会とは何か」

日時:2016年9月27日(火) 18:30 ~ 21:00
場所:福岡市中央区天神 2-12-1 天神ビル 11F



パネリスト

- (株)トンカチ 右寺 武志
- (株)ルックルック 貞兼 朋記
- (有)Branches 本松 ちなみ
- (株)キャリアプロGRESS 大石 紀子

1. 女性社員の特徵

・いい面

マジメ。言われたことはちゃんとする。

効率性が高い。

(男性社員と比べ)仕事への取り組み方が真面目(几帳面、責任感、丁寧)であること。反面、業務上の指示に対し、納得するまで説明する必要があるため、ある意味、時間がかかる・てこずる・不機嫌な態度に出られる場合があり、やりづらい。この点、男性社員は、即「YES」と反応するため、指示する側にとってもやりやすく、気分的にも楽。このようにスタートに時間がかかる女性社員だが、結果的にはきちんと仕上げる。一方で男性社員、返事はスムーズだが結果が満足できないケースが女性より多い。

・悪い点

その日の体調や気分のむらがある。

女性社員は気分にもうらがあり、扱いにくい(昨日はOKだったのに今日は??)。生理的なことも関係していると想像できても、男性(上司)から言い出しにくい。コミュニケーションをとるのが面倒、ついつい気を遣ってしまう。

・ここはうまく指導したほうが良いポイント

ひとつ一つ丁寧に、説明する。

業務指示を出す時は、その仕事の目的・意味・条件ゴールイメージなどを、ある程度具体的にして
順を追って説明をすると、高いモチベーションで取り組む傾向がある。

男女に関係なく仕事上の指示は、相手が納得するまで分かりやすく丁寧に言う。



続きを読む >>>

10月例会

あなたの会社のファーストステップ

～5年後、10年後のあなたの会社はどこにありますか?～

日時:2016年10月25日(火) 18:30 ~ 21:00
場所:福岡市中央区天神 2-12-1 天神ビル 11F

山田ブロック長 2年目の集大成の様なみなみかぜブロック担当の例会でした。



山田さんは『経営指針書は社長だけが作るものではない』という想いで行動指針を作り、その後実践し続けたことで、社内環境の改善が図かれそして社員ひとり一人の個性に合わせて目標や行動の指針を考えていくことが必要ではないでしょうか。というお話。

また田邊さんは、『経営指針書の作成や企業文化として浸透させることを強く推奨しません。』とおっしゃられ、しかし田邊さんは自ら作成し、ご自身やスタッフの経営判断基準としての理念を、毎朝唱和されており、経営指針書のまとめ方や活かし方の参考になるお話。

大石さんは、メンバーの拡大のためには、やはり経営指針が必要であり、同友会に入会のきっかけ自体が、経営指針書の作成セミナーであった共同事業者からの創業から法人化までの大石さんの経営に対するの覚悟が社員に伝わったお話でした。

続きを読む >>>



ふくろう不動産販売(株) 福添 建一



11月例会

地域に愛される100年起業を目指して
～社員と共に目指す優良企業への道～

日時:2016年11月22日(火)18:30～21:00
場所:福岡市中央区天神2-12-1 天神ビル11F



今回のテーマは、組織のNO.2として社長の思いをどうくみ取りそれを社員と共有しているか、という事でした。報告のプレを行っている時に何度も出てきたフレーズがあります。それは「うちの社長は素晴らしい」「社員が大事・人が大事」というものです。私はこんな渡辺さんがいる会社を正直うらやましく思いました。

そんな渡辺さんも転職後NO.2に抜擢されますが、はじめは社長の考えをなかなか理解出来ませんでした。その後同友会に入会し、多くの経営者に会い語らうことで、社長の思い、考えを理解します。その思いを経営指針書に落とし込み運用を始めますが、最初は社員に伝わりません。理由は「理解、共感、共有」が足りなかったからです。そこで社員の意見・思いを聞くことが大切だと気づき、それからは継続してコミュニケーションを取り、徐々に理念が浸透して今の会社になっていきます。

現在渡辺さんの会社は、大企業でなく優良企業を目指しています。今回の報告を聞いて、これこそ中小企業が生き残り発展していく道だと確信致しました。「最後は人です」とありましたが、これは社長や役員と社員の距離が近く、理念を浸透させやすい中小企業にとって絶対的なアドバンテージだからです。その為には理念を作り経営指針書を作成し、社員に浸透させていくことが不可欠です。そして社長だけでなく、NO.2や経営幹部、後継者がそれを社員に伝える橋渡し役になることが本当に大切だという事を、今回の報告で学びました。

続きを読む >>>



株式会社 朝日酸素商会 杉谷 知範



12月例会

同友会南支部 大望年例会 at 桜坂観山荘
『和を以て貴しとなす。和の国ニッポン』

日時:2016年12月19日(月)19:00～21:30
場所:福岡市中央区谷1-3-20



同友塾

【同友塾を受講して】

結論から言うと、「会社を今よりもよくしたいと思うなら受講するべき」です。

去年の11月に同友塾を受講しました。お集まりいただいた経営者は9名。ドキドキしながらワンシートに沿って自社の報告をさせていただきます。そして9名の方から様々な質問・アドバイスをいただき閉会します。

この“アドバイス”とその後の“懇親会”で大きな気づきと大きな感謝を持つことができました。何故かって？それは諸先輩方が、きつと言いづらであろう私の会社と私の未熟な点をストレートに言ってくださいます。その悔しさも感じながら、それを素直に受け止めれてない嫌な自分に気づきます。

しかし、この気づきで「はっ」とした瞬間があり、参加者の皆様に対してとても大きな感謝を感じることができました。

人は完ぺきではありません。経営者としても完ぺきではありません。こういった経験をさせていただくことで、今までよりも10%向上した人格者となり10%向上した経営者に育っていけるのではないかと思います。この10%でも20%ずつでもコツコツと成長していくことで、次の世代の経営者達にアドバイスができるくらいの人になっていく自分が楽しみにもなります。

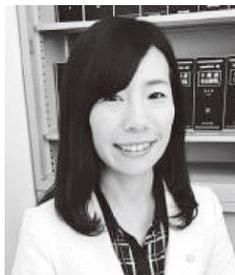
今よりもよくしたいと思われるなら、同友塾を受講(もしくはアドバイザーとして参加)をしてみませんか(*^^*)

株式会社 スミリオン 福田 裕聡

副ブロック長をやってみての感想

▼場づくりブロック

副ブロック長 川野司法書士事務所 川野 秀美さん



松井竜介ブロック長のもと、場づくりブロック副ブロック長を務めた2年を振り返ると、同友会入会前に副ブロック長に指名した松井ブロック長の無茶ぶりにはじまり、初めて参加した例会で同期会『まぜご飯会』と後に命名される。)の会長に指名され、華々しく？同友会デビューをすることができました。

お陰様で、いち会員として同友会活動を始めることなく例会運営などに早くから携わることが出来たことで、事務所経営では経験できない組織運営や、経営者として学び続けることの大切さをより実感した2年間となりました。

副ブロック長になったからこそ聞ける支部役員の方の例会でも聞けない経営の話や、何気ない会話の中で出てくる経営のヒントにも出会いました。そして、支部役員の方の経営姿勢にはすごく刺激を受けました。個人事業主だからとか、開業して間もないからと臆していたら、現状維持のまま2年間を過ごしていたと思います。

そういえば、同友会に入会し、副ブロック長をした2年でたくさんの刺激を受け、私の開業前の目標が一つ達成されました！ふふ^^同友会南支部の皆様ありがとうございました。とくに無茶ぶりしてくれた松井ブロック長には深く深く感謝申し上げます☆

▼なでしこブロック

副ブロック長 有限会社 Braches 本松 ちなみさん



みなさんこんにちは。有限会社ブランチェス取締役の本松ちなみです。なでしこブロックの副ブロック長をさせて頂いています。まだ数ヶ月残っていますが感想文を書かせて頂きます。感想としては、反省点の多いブロック活動でした。

一番はまだまだ現場での仕事がある中でブロック活動を優先するわけにもいかず川原ブロック長や他の会員さんに負担がかかってしまいました。

それを改善するきっかけを私からは作れていません。副ブロック長としての役目を果たせなかったのではないかと反省しています。

ただ、多くの会員の方々と一緒に楽しく交流できて嬉しく思っています。残りわずかですが、みなさんが参加したくなるようなブロック会を心がけて頑張ります。最後に、またお願いされても、お断りします。笑笑川原ブロック長、大串さん、花田さん、最後までよろしく願いします！！

▼企業連携ブロック

副ブロック長 敷島印刷株式会社 敷島 武法さん



皆様、こんにちは、企業連携ブロックの副ブロック長をさせていただいております敷島です。同友会の活動では、自分自身の成長の為にブロック会と例会には、100%近く出席しようと思っておりましたが、思いと現実とは全然違っている状態です。

特に企業連携ブロックの副ブロック長として2年近くになりますが、古賀ブロック長の補佐もなかなか出来ず心苦しく、反省致しております。同友会の中でブロック会の活発な活動が重要だと思います。今後も出来る限りブロック長を補佐していきたいと思っております。よろしくお願い致します。

▼ボディ&ソウルブロック

副ブロック長 株式会社クックチャムプラスシー 竹下 啓介さん



結成当初の打合せの重ねていく中で、例会などで心技体の技の部分は学ぶ機会はあるが心と体の学びも必要ではないかという事で意見が一致しボディ&ソウルというブロック名に決定しました。

ブロック会の内容は多くの外部の講師の方の協力を頂きました特徴としてメンバーに女性も多い事ありメンタルヘルス、アロマ、リンパなど普段知りえない内容の私自身も多くの学びを頂きました。担当の例会では渡部さん、小津さんにもご協力を頂き学びの多い例会ができたのでは無いかと感じております。

私自身は他の役員に甘える部分もあり反省の方が多くですが多くの活動を通じて、私自身が入会した最大の理由である仲間の信頼感が高まったのではないかと考えております。これからも今回任せて頂いたからこそその経験を活かし今後の同友会活動を続けていきたいと考えております。

▼みなみかぜブロック

副ブロック長 田村行政書士事務所 田村公隆さん



みなみかぜブロックでの活動が始まってから1年半が経過しました。同友会に入会して、会の行事や活動内容などをよく理解していない状況で副ブロック長をお受けしたので、山田ブロック長、渡辺副支部長にすべて教えていただきながら、また、周りの皆さんに助けをいただきながらの活動でした。仕事が忙しくなってきたこともあり、ブロック会や例会に参加できない時もあり、皆さんには大変ご迷惑をお掛けしているのではないかと思います。

しかし、副ブロック長をやらせていただいたことで、南支部の多くの会員の方々と親しくなることができました。また、同友会の支部活動の内容も少し理解できたように思います。本当に良い経験をさせていただいておいております。

みなみかぜブロックの活動もあと半年となりました。残りの期間を精一杯取り取り組ませていただきたいと思います。

新入会員のご挨拶

桜坂 AZUL 武 陽子さん



1. なぜ今の仕事をはじめましたか？

知り合いの方に 手作りのパンやお菓子を
おすそわけした時「教えて欲しい、作っ
て欲しい」と言われたのがきっかけです。
ロコミから広がり、有難いことに東京や広
島、山口から お教室に来てくれるよう
になりました。
贈る方、贈られる方が笑顔になるものを作り提案していきたいと
思いアトリエを開業致しました。

2. 趣味・特技はなんですか？

旅行とお菓子作り。
今は 仕事を楽しんでいるので趣味に入るかもしれません。

3. 入会の同期はなんですか？

自宅でお菓子と時短料理教室を 10 年ほどしており、昨年オーダ
ー製菓工房を開業いたしました。
次の目標が出来ましたが経営の事が何もわからず、相談相手も
おらず不安な時、舌間さんにお声をかけて頂きました。
同友会に入会するのはまだ早いと思っておりましたが ゲストで
例会に参加した時、会員の皆さんに「同友会で学んで行けばいい
んですよ」と言われ、居場所を見つけた気がし 入会を決めまし
た。

4. フリーコメントをお願いします。

「人生は成功と失敗があるのではない、成功と成長があるだけ」
と いつも自分に言い聞かせています(笑)
同友会に入会し、皆さんに沢山の「学びや気づき」を頂いておりま
す。
仲間が出来たようで嬉しいです。
AZUL のお菓子が広まっていくよう、感謝の気持ちを持ち続けて
頑張ります。

有限会社 次元クリエイト 野村 健さん

1. なぜ今の仕事をはじめましたか？

子供の頃から絵を描くことが好きで、高校
生の頃から(デザイン)に携わる仕事をした
いと考えていました。
ですので、今のディスプレイ装飾や広告・販
売促進など、視覚的情報発信ツールとして
の(デザイン)制作・プロデュースは、ほぼ
思い通りの仕事です。



ただ最近思うことは、ビジネスにおける(デザイン)とは、ただ視覚
的に「見た目」を良くすることではなく、顧客のビジネス全体に対
して、デザインの考えでアプローチをし、顧客の利益を創り出す
《仕組みを設計》する事でお役に立てられないか、と考えていま
す。

そこで現在は、ディスプレイ・店舗装飾、従来の広告・販促ツール
制作・プロデュースに留まらず、SNS マーケティングなどを通じて
WEB 関連企画に携わっています。
そのひとつが企業や施設、店舗等のインタビュー・ドキュメントを
中心とした「プロモーション動画制作」です。

2. 趣味・特技はなんですか？

山登、自転車
2017 年は《ソロキャンプ》にチャレンジしたい。

3. 入会の同期はなんですか？

私は 2000 年 7 月、お店や施設のディスプレイ・店舗装飾を主軸
にした販売促進・集客企画制作会社として次元クリエイトを開業。
2005 年に有限会社次元クリエイトを設立しました。
独立開業当初はそれなりの苦労もありましたが、固定したクライ
アントもあり順調でした。
しかし 2008 年リーマンショック以降、その余波はクライアントの業
績を一気に悪化させ、弊社も「漏れなく」不景気の波にのみ込ま
れていくことになりました。
売上げは激減し、この困難を乗り越えよう、なんとか自力で立て
直そう、と意気込んでいましたが、なかなか思うようにいかず、一
人悩み、もがいていたところ、なでしこブロック長の川原さんに声
を掛けられ、南支部の例会にゲストとして参加させていただいたの
が始まりです。

4. フリーコメントをお願いします。

同友会では、まず熱心に勉強されている経営者の方々の多さに
驚かされました。そしてポジティブで明るい。
例会やブロック会ではいつも何かしらの刺激を受けています。
今ではその刺激が私自身の《再生》への原動力になっているよう
にも思います。

その第一歩として、従来の広告・販促ツール、ディスプレイ装飾の
制作・プロデュースにこだわることなく、そして、ただただ売上げや
利益を追いかける「だけ」の仕事ではなく、嘘、偽り、誤魔化しの
ない、人の心を率直に伝える(デザイン)の仕事をしたい、と考
えるようになりました。

そのような想いを巡らしていたとき、インタビュー・ドキュメントを中
心とした「動画制作」に辿り着いた次第です。このツールが現在の
弊社の《再生チャレンジツール》です。
まだまだ途上ではありますが、同友会南支部の皆さまの刺激を
受けながら少しずつ階段を上っています。

どうか温かい目でお付き合いいただければ幸いです。
よろしく願い致します。

編集後記

新年おめでとうございます！
皆様のご協力で、県のホームページ運営
では、実績を残していることを、感謝申し
上げます。今期の広報情報プロジェクト
のテーマのひとつは、広報誌「みなみ風」
復活でした。インターネットをやらない方
や、外部の方にも、紙媒体で南支部の情
報を伝えたいという想いで、夏号は、福田
編集長。冬号(1/10)は、村本編集長が
担当しました。

ほかのメンバーは、うるさく、こうやったほ
うがいい、ああやったほうがいい、と好き
勝手に言い放題(※；編集長は、忍耐と
バランス感覚を試されます(;>.<))
いつも少女みたいに、ストレートな表現の
S嬢。秋ごろから急に輝を増したK嬢。
いつも日本酒の話ばかりのI氏。空き枠が
できたらラーメン特集を狙うM氏。いつ
も、お世話係で奔走するF氏。

それらを横目に、いかげんなK氏。とはい
っても、とても一体感あるチームだと思
います。



広報情報プロジェクト・リーダー：倉本明彦